

住宅部会ゼミナール2013

テーマ「今後の住宅政策」と「まちづくり」

東日本大震災から、早くも2年余が経過いたしました。ようやくここにきて復興住宅や災害公営住宅への動きへと、フェーズが変わってきている状況ではないかと思われれます。震災をきっかけに日本の住まいもさまざまな角度から見直されることになりました。エネルギー問題や高齢社会の課題も重要な観点となっています。今回は、日本の住まいや街づくりが今後どうあるべきか、今一度見直していく契機なればということで、「今後の住宅政策」と「まちづくり」をテーマにご講演いただく予定です。

- ・期日 平成25年8月22日(木)
 - ・会場 日本消防会館 5階大会議室
(港区虎ノ門2-9-6)
 - ・スケジュール
- <第一部>
- 14:00～14:10 開会挨拶
 - 14:10～15:10 講話
- <第二部>
- 15:15～16:45 講演
 - 16:45～16:50 閉会挨拶

第一部 講話

1. 「最近の住宅生産行政の動向」について
国土交通省 住宅局住宅生産課 課長 伊藤 明子 氏
2. 「日本再興戦略」について
経済産業省 経済産業政策局 政策企画官 藤澤 秀昭 氏

第二部 講演

- 「活力ある超高齢社会のためのすまい・まちづくり」
東京大学 工学部 都市工学科教授 大方 潤一郎 氏

<大方潤一郎氏プロフィール>

- 1954年 川崎市に生まれ、東京都大田区で育つ。
- 1977年3月 東京大学工学部都市工学科卒業
- 1979年3月 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程修了
- 1996年4月 東京大学大学院工学系研究科工学部都市工学専攻助教授
- 1999年2月 東京大学大学院工学系研究科工学部都市工学専攻教授

専門は都市計画、土地利用計画。主な研究関心はひとことでいえば、土地利用規制・誘導手法と土地利用実態との関係性にあるが、ここ数年の主たる研究・活動は、「まちづくり条例」の策定・運用を通じた都市成長管理・既成市街地更新管理、IT技術を活用した参加型計画策定手法。